

コミュニティ くま

My home town story

老上

2025.OCT
145号 10

[編集発行]
公益財団法人 草津市コミュニティ事業団
[作成協力]
老上学区まちづくり協議会

いや、今年の夏は暑かった。いや、今年も暑かった。でも子どもたちは元気がいい。そんな夏休み初日。気のゆるみを引き締めるように南笠町の子ども会では交通安全教室が開かれました。しっかりと交通安全を学んだ後はお楽しみのかき氷タイム。降り注ぐ蝉しぐれの下、サイコーに美味しい笑顔いただきました。

老上

草津市の南西部に位置し、JR南草津駅から西側の琵琶湖に向かって広がる平野部となっている。

区域には古代の歴史遺産が点在し、現在も前方後円墳を目にすることができる。

近年は駅前マンション群に加え宅地分譲が進み、若い世帯が増えている地域と、高齢化や少子化の問題に直面する高度成長期に開発された町内会、町内会組織の無いマンション群というコミュニティ環境の違いが顕著なまちでもある。

※老上学区まちづくり協議会HPより一部抜粋

●総人口	: 13,104人 (141,005人)
0-14歳	: 2,628人 (19,972人)
15-64歳	: 8,363人 (89,365人)
65歳以上	: 2,113人 (31,688人)
●世帯数	: 5,878戸 (65,486戸)
●65歳以上の割合	: 16.1% (22.5%)

※外国人を含めた集計/カッコは草津市全体
草津市HPより(令和7年8月31日時点)

老上学区まちづくり
協議会HP



老上学区の
キャラクター
おいかめちゃん



パパ、たて直す。〜復活 南笠町子ども会〜

南笠子供育成会 会長 的場計樹さん（46歳）

最も早い梅雨明けとなった今年の夏。朝からジリジリと日差しが照りつける夏休み初日、南笠公民館に多くの親子が集まってきました。南笠町の子ども会「南笠子供育成会」主催の交通安全教室には、約60名の小学生・幼児とその親御さんたちが集まりました。この炎天下にも負けない熱気です。会場が目立つのは忙しなく動き回るパパたちの姿。誘導役も地域の危険箇所を説明する役割も、カメラ係も、お楽しみのシャリシャリかき氷を作るのだって、みんなパパ。パパ。パパ…。そう、ここはパパたちが運営する子ども会なんです。パパたちカッコいいんです。

たのは13年前。南草津駅に新快速が停車するようになった翌年のことです。

「田舎育ちだから、町内会や子ども会に入るの当たり前だと思ってた」という的場さん、加入早々に町の役が回ってきました。

世帯数4倍！

南笠町は古くから栄えた歴史あるまち。ここに新しく大きな住宅街が生まれました。

プリムタウン。今では約930世帯、約3000人が暮らします。老上学区の4〜5人に1人がプリムタウン住民というから、その大きさに驚かされます。

全4区のうち1区は独自に町内会を立ち上げ、2〜4区が地元の南笠町内会に加入しました。これまで約140世帯だった南笠町内会は約600世帯にまで膨らみました。

的場さんがココに引っ越してき

うにあたり、私たちの意見を聞きたいと場を設けてくれました」

的場さんはそこで町内会への意見を色々とぶつけたのだとか。すると町内会長から「町役をやっているにまちを良くしてみないか？」と、まさかの勧誘。

「やります」即答でした。

町役になつてみると的場さんにもまちの事情や様子が見えてきます。また、地元の先輩たちも的場さんたち若い世代の考え方や力を受け入れてくれるようになってきました。居住歴こそ違えど「このまちを良くしたい」という想いはみんな同じなんです。

子ども会の限界

そんな的場さんに転機が訪れたのはコロナ禍のときでした。

「当時の町内会長がプリムタウンの皆さんが町内会に入っても

その頃、子ども会の活動が限界を迎えつつありました。プリムタウンができたことで南笠町には多くの子どもがいるにも関わらず、子ども会の会員はなかなか増えません。もう辞めたいなんて声もちろほら。



的場計樹さん



親御さんはみんな仕事や家事、それに子育てで一杯いっぱい。子ども会の役員まで回ってきたら負担が大きすぎてやれない、というのがホンネでした。

当時、子ども会の役員はママ中心です。

やめることから始める

夏休みのラジオ体操・キャンプ・クリスマス会……。的場さんにとって子ども会は幼いころの記憶の大きな部分を占めています。

的場さんは町内会長の了解を得て、新しい子ども会の設立に向けて動き出します。目指すは子どもたちが主役、そして親の負担感のない子ども会です。

まずは会員制をやめました。公式LINEをつくり、参加したいときだけ参加できるようにしまし



た。役員制度もやめました。コアスタッフはいますが、催しごとにできる、親や、たい親がスタッフとなります。会費だつてやめました。

「子ども会を潰した」なんて言われたときもありましたが、町内会長が「これは町改革の一つ」と守ってくれました。

そんな時、「子ども神輿の担ぎ手を集めて」と的場さんに連絡がありました。前任の会長からも苦労したと聞いていた案件。LINEで募集を呼びかけるものの、まだ登録者も少なく全然集まりません。「あの時は焦りました(笑)」と的場さん。

そこでコアスタッフのパパたちとともに通学路に立ち、子どもたちに直接チラシを配ると「一気に担ぎ手が集まったのです」。

「子どもがやりたいことって今も昔も変わらない。機会さえつくればやりたいうって集まってくれんのですね」と的場さん。

そんな子どもたちの「やりたい」を大切にしながらも親には負担をかけないという新しい子ども会の大きな一歩となりました。現在、公式LINEの登録は300人超え。イベント情報や参加申込もこの公式LINEひとつです。

いろんな業種のパパたち

新生「南笠子供育成会」は約2ヶ月ごとに定期イベントをしながら、新しい企画も練っているのだとか。コアスタッフは若いパパばかり。

「『バレンタインチョコを作らせてあげたい』『バザーをしてみたい』『ミニ四駆とか懐かしい』『貸し切りでいちご狩り！』なんて、みんな楽しんで企画を出しあっています。『前にいた町でやってた』なんてパパがいたら、その人を中心に企画が進んでいく感じですね。いろんな業種のパパたちがいるので面白いですよ」

大人になることに憧れを

「自分が子どもの時は父親たちが子ども会を動かしていて一緒に作ったり、どこかに連れて



行ってくれたり、友だちのお父さんに怒られたり……。いろいろ体験させてくれた父親たちが僕の中の「かっこいい父親像」なんですよ。

イベントに熱心に参加するパパなんかを見つけると「一緒にやりましょう！」「って声をかけます。ママは子どもと一緒に参加者側でイベントを楽しんでもらえたらいいですね」

的場さんにはその先の想いがあります。

「昔あった青年団のように、子どもたちには世代をつないでいく体験をして欲しい。今、参加している子どもたちが中学生になったら、おとな神輿を担いだり、夏祭りの模擬店をしたり、下級生向けの企画をしたり」。

それを下級生たちが見ている。憧れる。そんな「つなぎ」がまた、このまちに生まれてくれたら嬉しいですね」

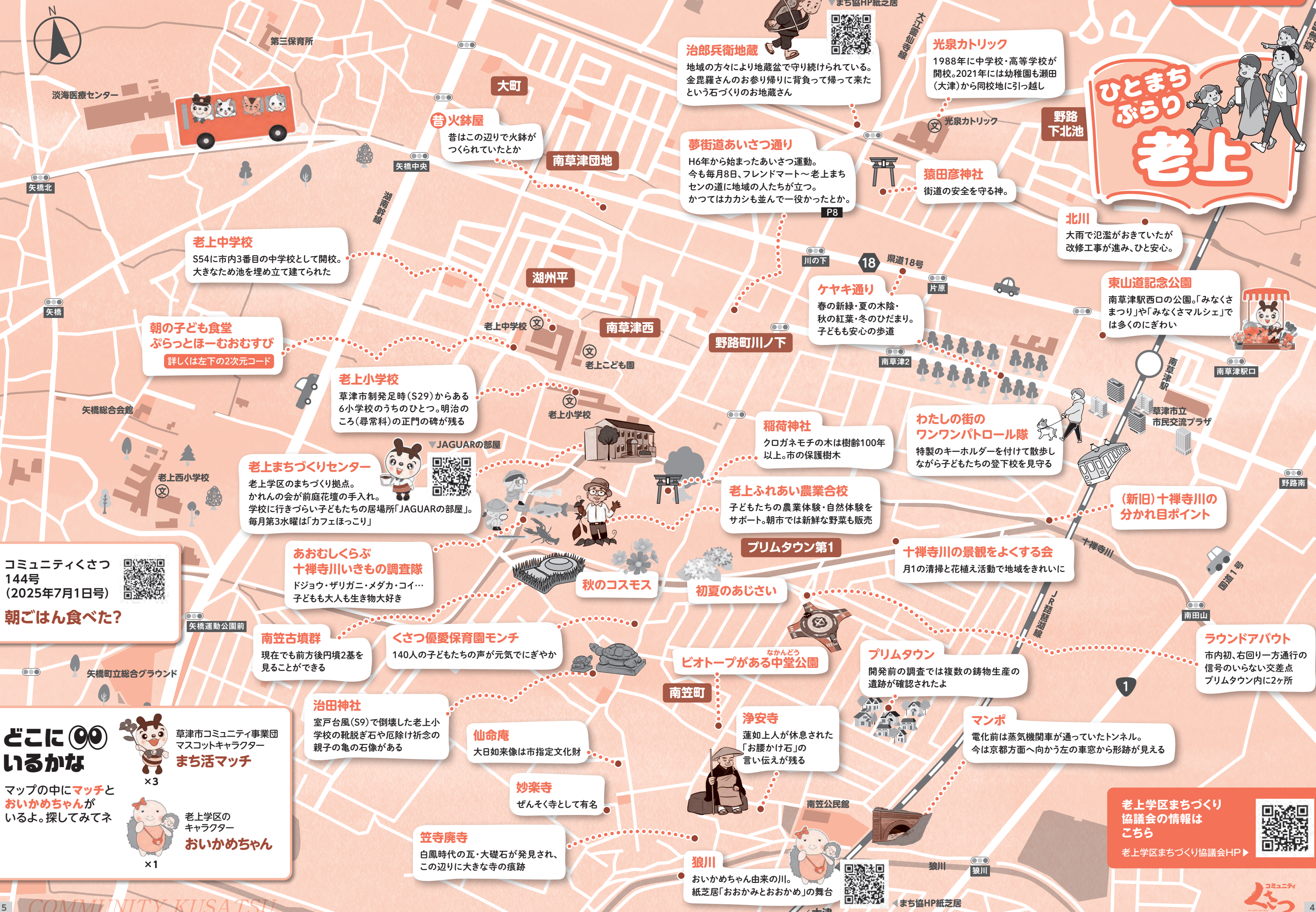


歴史ある町に引っ越してきて、ココの伝統も文化も大事にしながら、現役世代が参加しやすい“子ども会”を目指すパパたち。

「この南笠町を支えてきてくれた役員の皆さんは私たちにとってはちょうど親世代なんですよ。子どもたちを入れると、南笠町は大きな3世代同居の家みたいな温かい町なんです」と的場さん。

3世代で創っていく古くて新しいまち南笠の“これから”に注目です。

ひとまち ぶらり 老上



コミュニティくさつ
144号
(2025年7月1日号)
朝ごはん食べた?

**どこに〇〇
いるかな**

マップの中に**マッチ**と
おいかめちゃんが
いるよ。探してみてネ

草津市コミュニティ事業団
マスコットキャラクター
まち活マッチ ×3

老上学区の
キャラクター
おいかめちゃん ×1

老上学区まちづくり
協議会の情報は
こちら

老上学区まちづくり協議会HP

治郎兵衛地蔵
地域の方により地蔵盆で守り続けられている。
金毘羅さんのお参り帰りに背負って帰って来た
という石づくりのお地蔵さん

光泉カトリック
1988年に中学校・高等学校が
開校。2021年には幼稚園も瀬田
(大津)から同校地に引っ越し

猿田彦神社
街道の安全を守る神。

夢街道あいさつ通り
H6年から始まったあいさつ運動。
今も毎月8日、フレンドマート～老上まち
センの道に地域の人たちが立つ。
かつてはカカシも並んで一役かったとか。

北川
大雨で氾濫がおきていたが
改修工事が進み、ひと安心。

東山道記念公園
南草津駅西口の公園。「みなくさ
まつり」や「みなくさマルシェ」で
は多くのにぎわい

ケヤキ通り
春の新緑・夏の木陰・
秋の紅葉・冬のひだまり。
子どもも安心の歩道

稲荷神社
クロガネモチの木は樹齢100年
以上。市の保護樹木

**わたしの街の
ワンワンパトロール隊**
特製のキーホルダーを付けて散歩し
ながら子どもたちの登下校を見守る

老上ふれあい農業高校
子どもたちの農業体験・自然体験を
サポート。朝市では新鮮な野菜も販売

**(新旧)十禅寺川の
分かれ目ポイント**

十禅寺川の景観をよくする会
月1の清掃と花植え活動で地域をきれいに

プリムタウン第1

初夏のあじさい

秋のコスモス

**あおむしくらぶ
十禅寺川いきもの調査隊**
ドジョウ・ザリガニ・メダカ・コイ…
子どもも大人も生き物大好き

南笠古墳群
現在でも前方後円墳2基を
見ることができる

くさつ優愛保育園モンチ
140人の子どもたちの声が元気でにぎやか

治田神社
室戸台風(S9)で倒壊した老上小
学校の靴脱ぎ石や厄除け祈念の
親子の亀の石像がある

仙命庵
大日如来像は市指定文化財

妙楽寺
ぜんそく寺として有名

笠寺廃寺
白鳳時代の瓦・大礎石が発見され、
この辺りに大きな寺の痕跡

ビオトープがある中堂公園

浄安寺
蓮如上人が休息された
「お腰かけ石」の
言い伝えが残る

プリムタウン
開発前の調査では複数の鋳物生産の
遺跡が確認されたよ

マンボ
電化前は蒸気機関車が通っていたトンネル。
今は京都方面へ向かう左の車窓から形跡が見える

ラウンドアバウト
市内初、右回り一方通行の
信号のいらない交差点
プリムタウン内に2ヶ所

狼川
おいかめちゃん由来の川。
紙芝居「おおかみとおおかめ」の舞台

FEATURE

生き残れ! 3匹の子ぶたたち

防災劇 オイカミ町の防災大作戦!

学生団体 **En** わた い ゆ り か 渡井友莉香さん(21歳)

イメージ▶



周りの人に伝えて…

「生き残れ老上!!」「地震は老上を避けてくれない。助けは老上を優先してくれない」……。
ここ老上学区の地区防災計画は、なんとも刺激的な見出しで私たち二人ひとりに訴えかけてきます。
そして思わず「そつだよなあ」なんて、ミヨーな説得力をもつてたりします。
そう、この力強い言葉たちは老上学区の、ホンキの表れでもあるんですね。
そんなホンキ老上の防災フェスや防災訓練はさぞやスバルタ? 鬼トレーニング?
いやいや、これが楽しいんです、ホント。

老上小学校の体育館が拍手で包まれます。ステージ上には映し出されたエンドロールに合わせて、お辞儀で応える子どもたちの姿。8月最後の土曜に行われた「防災フェス 生き残れ老上!」での防災劇が今、幕を閉じました。エンディングのナレーションが胸を打ちます。

防災でつながる

「今日、この場を訪れた皆さんはたくさんの方を学びました。どうか皆さん、今日学んだことを周りの人に伝えてください。正しい知識を持つ人が増えれば、守られる命も増えていきます」……」

得た知識を次に伝えることで助かる命がある。今日一番の気づきでした。
そんな「地元愛」強めの渡井

さん。「若いうちから地域に貢献したい」との思いで、大学2年生の時に学生リーダーを育てるプロジェクト*に参加。そこで学校もそれぞれ違う関西の大学生6人で「学生グループEn」を立ち上げました。

「縁があつて出会った人が、円になって笑いながら、互いに援助し合い、永遠につながっていく。Enにはそんな想いを込めました。」

互いのつながりを創る大切さを誰もが感じる場面が防災ではないか、と皆で相談して、地区防災に取り組むことにしたんです」

イマドキの大学生、スゴい!

若い人も参加しなくちゃ

6人はまず、地区防災の実情を知るため色々な地域で行われる防災訓練に参加し、まくったのだとか。そこで気づきました。どこの防災訓練も参加してるのは高齢の人ばかりだったのです。「もっと若い人たちも参加し

なくちゃ。人のつながりって、地域にどんな人がいるのか互いに知ることから始まるのでは…」



活動の様子は、えふえむ草津
草津市コミュニティ事業団提供
「くさつ☆コミュニティTea Time!」
オンデマンド放送でもお聞きいただけます。
第71回 2025年8月放送 老上防災フェス



若い人たちが参加したくなる
地区防災。

Enの目標が定まりました。
目指す防災を実践するため草
津市役所に相談すると、紹介
されたのがなんと老上学区。そ
う、渡井さんの地元だったの
です。

老上学区防災計画「生き残れ
老上!!」では「老上みらい応援
隊」の二つとして、地区防災を地
域の皆と一緒に考え、活動する

* SOS委員会
があります。渡
井さんもメン
バーとして、8
月の防災フェス

に向けての企画に加わることに
なりました。

「防災の活動ってどこも高齢
の男性が多くて、普段と違うこ
とをするのには少し抵抗があ
るようです。SOS委員会には
若いママたちも結構いて、活発
に意見を言っています。良い意
味でのノリの良さなんかもあつ
て、私たちのような学生の提案
も受け入れ、そして任せてくれ
るんです」と渡井さん。

若い人たちが参加したくな
る地区防災を目指す学生サー
クルEn。クイズや防災運動会
など、子どもや若い人たちが面
白く参加しやすい企画を委員
会に提案してみました。

なんと6つも。

「めっちゃおもしろいじゃん」「え
えやん、やろう」

こうして提案の中から、子ど
もたちによる防災劇が採用と
なったのです。

3匹の子ぶた

防災劇には小学3〜4年生の
女の子6人が手を挙げてくれま
した。

そこにSOS委員やEnの大
学生も加わり暫定劇団が誕生
しました。

劇は「3匹の子ぶた」をモ
チーフにしたお話。そう、子ぶた
たちがそれぞれの家を建ててオ
オカミから身を守ろうとする、
あの物語です。脚本は渡井さん
が担当しました。マンションや

一軒家など、形態の異なる家
で暮らす子どもたちが、それ
ぞれに日頃の備え、いざとい
うときの行動について演じま
す。

「地震が起きたらまずどう
する？」

渡井さんは子どもたちの意
見をどんどん脚本に取り入
れながら稽古を重ねていきま
す。「Enには漫才の得意なメ
ンバーもいて発声練習や演出
もしてくれています」

子どもたちと話す大学生
は歳の離れたお兄ちゃん、お
姉ちゃんのように、見ているだ
けで微笑ましい。こうして、
みんなで創った40分間の防
災劇「オオカミ町の防災大作
戦!」は生まれました。

渡井さんは話します。

「自分の地元でこんなに色々な活動をしている人たちがいることを知っ
て驚いたし、頼もしくもありました。もっともっと知ってもらいたいですね。

近ごろは学校の部活時間も少なくなったみたいだし、時間に余裕のある
学生さんは地域の人たちに触れ、様々な経験をしないとったいいなっ
て思います」

わらの家と木の家がオオカミに壊された「3匹の子ぶた」。皆がつながり
助け合う老上なら、たとえ家が壊れたってきっと大丈夫。生き残れ老上!!

* 一般社団法人 エッジソン・マネジメント協会「次世代共創リーダー育成プロジェクト」
* SOS…セーフティ・おいかみ・システム

渡井友莉香さん



もじうめスツキリ

老上にまつわるスツキリ。□に入る5文字を答えてね。
今回からスマホからも応募できるよ!

問 (1) ドジョウ・コイ・メダカ…いきもの調査ではこんなサカナたちがいるよ

じゅう□んじがわ

(2) 信号のいない一方通行の交差点。
プリムタウンにあるよ

ラ□ンドアバウト

(3) 金毘羅さんの帰りに背負って帰って来たという地蔵。

じろ□えじぞう

(4) 公募で集まったメンバーで防災の取り組みを考える

SOSいいんか□

(5) 老上のまちづくり拠点。H6年から始まったあいさつ運動もここから

□いかみまちづくりセンター

MAP
(P.4-5)を
見てね



応募方法

右の応募フォームから①答えの5文字②住所・氏名・年齢・電話番号
③今号の感想を添えてご応募ください。もちろんハガキ、FAX、メー
ルでのご応募もお待ちしています。



応募フォーム

必切 10月17日(金) 必着

宛先

〒525-0032 草津市大路二丁目1番35号(キラリエ草津)

(公財)草津市コミュニティ事業団

「コミュニティくさつ10月号」係

☐ com-com@mx.biwa.ne.jp

☎ 565-0411

プレゼント

応募いただいた中から抽選でスターバックス
ギフトカード(1,000円分)を5名様にプレゼント。



▲イメージ

30年続くおはよう! ~夢街道「あいさつ通り」~

老上は住民の皆さんのまちづ
くりやボランティア活動への意
識が高いまち。その象徴はなんと
30年以上も続く夢街道「あいさ
つ通り」。毎月8日、登校する子
どもたちに地域住民の皆さんが声
をかける活動です。

4月は声の小さかった1年生
も、数か月後には活き活きと笑
顔で「おはよう」。朝の元気なあ
いさつは気持ちの良い一日をス
タートさせるだけでなく、地域住
民の心のふれあいの場にもなっ
ています。今日も老上のまちに
「おはよう」の声が響きます。そ
して、これからも。



ポイント

老上のここが好き!



「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの
経費縮減などで得る独自の収益金のほか草津市からの補助、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかっています。

